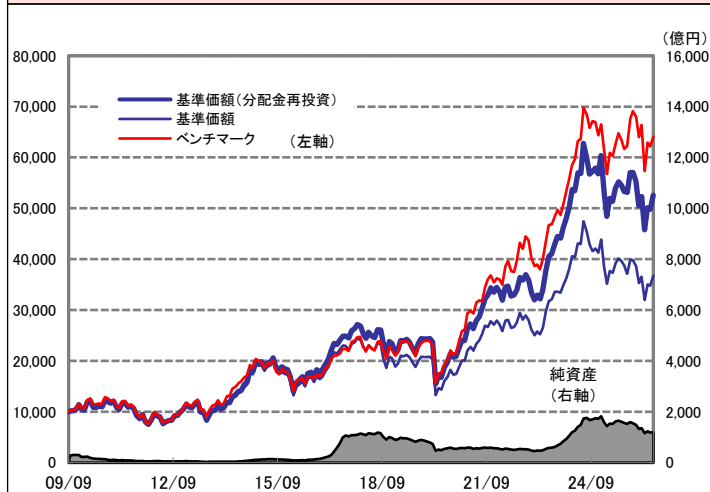


## 運用実績

2026年6月30日 現在

## 運用実績の推移

(ベンチマークは設定日＝10,000として指数化：月次)



・上記の基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

## 基準価額※

36,737 円

※分配金控除後

## 純資産総額

1,194.7億円

## 騰落率

| 期間  | ファンド  | ベンチマーク |
|-----|-------|--------|
| 1ヵ月 | 5.6%  | 3.1%   |
| 3ヵ月 | 14.9% | 11.7%  |
| 6ヵ月 | -5.0% | -5.8%  |
| 1年  | -4.8% | -1.1%  |
| 3年  | 29.7% | 37.2%  |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

|     |        |        |
|-----|--------|--------|
| 設定来 | 425.8% | 540.7% |
|-----|--------|--------|

設定来＝2009年9月16日以降

## 基準価額変動の要因分解

| 要因項目           | 直近1ヵ月の騰落 |
|----------------|----------|
| 基準価額騰落額(分配金込み) | 1,957 円  |
| 株価要因           | 1,146 円  |
| 為替要因           | 1,027 円  |
| その他(信託報酬等)     | -216 円   |

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2009年9月16日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則 9月12日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

## 分配金(1万円当たり、課税前)の推移

|         |         |
|---------|---------|
| 2025年9月 | 1,500 円 |
| 2024年9月 | 1,650 円 |
| 2023年9月 | 1,200 円 |
| 2022年9月 | 1,000 円 |
| 2021年9月 | 850 円   |

ベンチマークは、S&P BSE インド 200種指数(税引き前配当込み、円換算ベース)とします。

|       |         |
|-------|---------|
| 設定来累計 | 9,480 円 |
|-------|---------|

・左記は、基準日の直近1ヵ月の基準価額(分配金込み)の騰落額を委託会社が一定の条件の基に算出したもので、円貨にて表示しております。

## 資産内容

2026年6月30日 現在

## 資産別配分

| 資産     | 純資産比   |
|--------|--------|
| 株式     | 94.9%  |
| ワラント   | 0.0%   |
| 株式先物   | -      |
| 株式計    | 94.9%  |
| その他の資産 | 5.1%   |
| 合計(※)  | 100.0% |

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

|        |       |
|--------|-------|
| 実質外貨比率 | 98.5% |
|--------|-------|

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

## 業種別配分

| 業種          | 純資産比   |
|-------------|--------|
| 銀行          | 26.3%  |
| 金融サービス      | 11.3%  |
| エネルギー       | 8.9%   |
| 不動産管理・開発    | 8.1%   |
| ソフトウェア・サービス | 5.4%   |
| その他の業種      | 34.8%  |
| その他の資産      | 5.1%   |
| 合計          | 100.0% |

## 組入上位10銘柄

2026年6月30日 現在

| 銘柄                                    | 業種       | 純資産比  |
|---------------------------------------|----------|-------|
| ICICI BANK LTD                        | 銀行       | 9.0%  |
| AU SMALL FINANCE BANK LTD             | 銀行       | 5.4%  |
| STATE BANK OF INDIA                   | 銀行       | 5.3%  |
| RELIANCE INDUSTRIES LIMITED           | エネルギー    | 4.5%  |
| LODHA DEVELOPERS LTD                  | 不動産管理・開発 | 4.0%  |
| HDFC BANK LIMITED                     | 銀行       | 3.5%  |
| AXIS BANK LIMITED                     | 銀行       | 3.2%  |
| BHARTI AIRTEL LIMITED                 | 電気通信サービス | 3.1%  |
| ADANI PORTS AND SPECIAL ECONOMIC ZONE | 運輸       | 3.1%  |
| BAJAJ FINANCE LTD                     | 金融サービス   | 2.8%  |
| 合計                                    |          | 43.9% |

組入銘柄数 : 46 銘柄

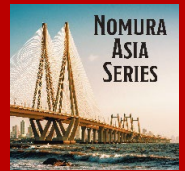
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



## 先月の投資環境

- 先月のS&P BSEインド 200種指数(現地通貨ベース)の月間騰落率は-0.14%となりました。
- インド株式市場は、上旬、米国とイランの和平交渉の不透明感が高まったことやRBI(インド準備銀行)が2026年度の成長率見通しを引き下げた一方でインフレ率見通しを引き上げたことなどが嫌気され下落基調で推移しました。中旬は、米国とイランの和平合意とホルムズ海峡の運行再開への期待から原油価格が下落したことなどが好感され反発しました。下旬は、引き続き原油価格の下落によるインフレ圧力の後退が好感されたことや、米印貿易協定締結への期待などが支援材料となったものの上値の重い展開となり、月間では小幅下落となりました。
- 業種別では、ITや素材などのセクターが下落しました。
- 経済指標では、1-3月期の実質GDP(国内総生産)成長率は前年同期比+7.8%と市場予想を上回りました。また、5月のCPI(消費者物価指数)上昇率は前年同月比+3.93%となりました。RBIは政策金利を5.25%に据え置きました。
- 為替市場では、インド・ルピーは対米ドルで上昇(米ドル安)、対円でも上昇(円安)となりました。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

- パフォーマンス:月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は+5.63%となり、ベンチマークの騰落率+3.06%を2.57ポイント上回りました。ベンチマークより高めの投資比率としていたエネルギー株や銀行株の騰落率がベンチマークを上回ったことなどが主なプラス要因となりました。
- 主な売買:世界的なAIブームを背景とした光ファイバー需要の拡大や防衛事業のシェア拡大で、高い利益成長が期待できると判断した電気通信サービス株を新規に買い付けしました。一方、中東情勢の緊張緩和後も株価が軟調に推移したエネルギー株を一部売却しました。

## 今後の運用方針 (2026年7月3日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

## ○ インド経済

政府はエネルギー価格高止まりに対して国民に燃料節約を呼び掛けるなどより包括的な政策を打ち出していることに加え、RBIは海外資本流入促進策を相次いで発表しています。このような施策は対外収支の悪化を和らげると見ているものの、中東情勢が依然として不透明であるなか、今後の実体経済への影響を引き続き注視する必要があると考えます。一方で、景気の先行きを示す製造業PMI(購買担当者景気指数)、サービス業PMIは6月も景気拡大・縮小の分かれ目となる50を上回るなど底堅さを維持しています。

## ○ インド株式

株式市場については、短期的には国内外の金融政策や地政学的リスク、原油価格の動向などに左右される展開になると見えています。バリュエーション(投資価値評価)については、S&P BSEインド 200種で見た予想PER(株価収益率)は6月末時点で約20倍と過去5年平均とほぼ同水準となっています。インド企業一株当たり利益成長率(市場予想ベース、6月末時点)は2026年は+11.1%が予想されており、中長期的には内需の底堅い推移や政治・経済の改革への期待などを考慮すると上昇余地があると見えています。

## ○ 今後の運用方針

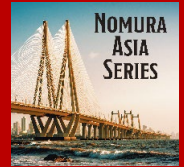
生産年齢人口の増大や所得水準の上昇、都市化の進展などを背景とする住宅需要の増加から業績拡大が期待される不動産セクターや、資産の質や収益性の向上が期待される銀行株を中心とした金融セクターなどを高めとする投資比率を維持する方針です。一方、不動産やインフラの整備拡大の恩恵が期待できるセメント株への投資は維持するものの素材セクター全体は低めの投資比率とする方針です。銘柄選択においては、財務基盤が健全で利益成長の確度が高く、バリュエーションが割安と見られる銘柄を中心に組み入れ、より高い業績成長が見込まれる中小型銘柄やIPO(新規株式公開)にも注目していく方針です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



## 組入上位10銘柄の解説

2026年6月30日現在

|    | 銘柄                                                                       | 組入銘柄解説                                                                                                                                            |
|----|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | ICICI BANK LTD<br>ICICI銀行                                                | 銀行。普通預金口座、融資、デビットカード、クレジットカード、保険、投資、住宅ローン、およびオンラインバンキングの各サービスを提供する。世界各地で事業を展開。                                                                    |
| 2  | AU SMALL FINANCE BANK LTD<br>AUスモール・ファイナンス銀行                             | 商業銀行。普通・当座預金口座、定期預金、デビットカード、保険、政府関連の銀行業務、個人向け融資、および小規模融資などの金融商品およびサービスを提供する。インドで事業を展開。                                                            |
| 3  | STATE BANK OF INDIA<br>インドステイト銀行                                         | 商業銀行。インド国内の企業、公的機関、商業、農業、工業分野ならびに個人客に対し幅広い銀行業務、金融サービスを提供する。在外インド人を対象とした国際銀行業務も手掛け、世界各国に店舗を持つ。                                                     |
| 4  | RELIANCE INDUSTRIES LIMITED<br>リライアンス・インダストリーズ                           | 石油化学品および繊維メーカー。繊維部門では、合成繊維、テキスタイル、混紡糸、ポリエステル・ステープルファイバーを製造、販売。石油化学部門では、ジャムナガルに石油精製工場を所有し、ガソリン、灯油、液化石油ガス (LPG) などの幅広い製品を製造する。                      |
| 5  | LODHA DEVELOPERS LTD<br>ロダ・デベロッパーズ                                       | 不動産会社。商業および工業向け不動産の保有・開発を手掛ける。世界各地で事業を展開。                                                                                                         |
| 6  | HDFC BANK LIMITED<br>HDFC銀行                                              | 商業銀行。グローバルな企業に金融サービスを提供。コーポレートバンキングおよびカストディ業務を行なうほか、トレジャリー、キャピタルマーケット部門における業務にも注力。アドバイザー業務ならびに、国際預託証書 (GDR)、ユーロ建て融資、ユーロ建て債券などのマネーマーケット商品の販売も手掛ける。 |
| 7  | AXIS BANK LIMITED<br>アクシス銀行                                              | 商業銀行。インド国内で総合的な銀行業務を展開する。主なサービスは、リテール銀行業務、インベストメント・マネジメント、商業銀行業務、トレジャリー、非居住インド人向けサービス、現金・クレジット管理、ATMなど。                                           |
| 8  | BHARTI AIRTEL LIMITED<br>バーティ・エアテル                                       | 電気通信事業者。アジアおよびアフリカ18か国で事業を展開する。インドで、2G、3G、4Gワイヤレスサービスおよびモバイルコマースを提供。                                                                              |
| 9  | ADANI PORTS AND SPECIAL<br>ECONOMIC ZONE<br>アダニ・ポーツ・アンド・スペシャル・エコノミック・ゾーン | インドの西海岸で港湾を運営。エネルギー、鉄道、火力発電・送電、農業、物流セクター向けに荷役、輸送、倉庫、物流、避難などのサービスを提供する。                                                                            |
| 10 | BAJAJ FINANCE LTD<br>バجاج・ファイナンス                                         | 金融サービス会社。インドで事業を展開し、各種金融サービスを提供する。                                                                                                                |

(出所) Bloombergの情報を基に野村アセットマネジメントが作成。

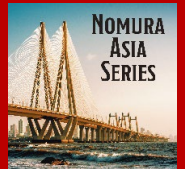
(注) 当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 加入協会：一般社団法人資産運用業協会／  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会



## ファンドの特色

- 各ファンド(ノムラ・印度・フォーカス、ノムラ・インドネシア・フォーカスを総称して「各ファンド」といいます。)は、以下の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。また、マネープール・ファンドは、円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

|                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| ノムラ・印度・フォーカス     | インドの企業の株式(DR(預託証券)を含みます。) |
| ノムラ・インドネシア・フォーカス | インドネシアの企業の株式              |

- ノムラ・アジア・シリーズは、アジアの投資対象先にフォーカスするファンドとマネープール・ファンドで構成されています。

- 各ファンドの投資方針

株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性、流動性等を総合的に勘案して、投資銘柄を選別します。また、トップダウン・アプローチによる業種別配分を加味し、ポートフォリオを構築します。

- ◆ ファンドは、以下をベンチマークとします。

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ノムラ・印度・フォーカス     | S&P BSE インド 200種指数(税引き前配当込み、円換算ベース)<br>※「S&P BSE インド 200種指数(税引き前配当込み、円換算ベース)」は、S&P BSE 200指数をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。<br>S&P BSE 200 指数は、スタンダード&プアーズが発表している、ムンバイ証券取引所上場銘柄の主要200 銘柄で構成される浮動株加重指数です。<br>当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーに帰属しております。                         |
| ノムラ・インドネシア・フォーカス | ジャカルタ総合指数(円換算ベース)<br>※ジャカルタ総合指数(円換算ベース)は、ジャカルタ総合指数(インドネシアルピアベース)をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。<br>ジャカルタ総合指数(JCI)は、インドネシア証券取引所が所有しています。インドネシア証券取引所は、JCIをベンチマークとして用いる利用者によって提供される、いかなる商品に関しても責任を負いません。また、インドネシア証券取引所は、JCIをベンチマークとして用いる利用者によってなされる、いかなる投資判断に関しても責任を負いません。これらの利用者は、JCIの利用に関して、第三者に対して責任を負います。 |

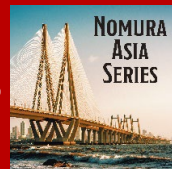
ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。 )ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆ 設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商 号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会





## ファンドの特色

- ◆株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。
- ◆実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ◆ファンドは以下のマザーファンドを通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| ノムラ・印度・フォーカス     | 野村インド株マザーファンド    |
| ノムラ・インドネシア・フォーカス | 野村インドネシア株マザーファンド |

各ファンドは、一般社団法人資産運用業協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められている「特化型運用」を行なうファンドに該当します。  
各ファンドが実質的な投資対象とする各新興国市場には、寄与度(市場の時価総額に占める割合)が10%を超える、もしくは超える可能性が高い銘柄(支配的な銘柄)が存在すると考えられます。  
実質的な投資が支配的な銘柄に集中することが想定されますので、当該支配的な銘柄の発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化等が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

## ● マネープール・ファンドの投資方針

- ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
- ◆ ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 各ファンドのマザーファンドの運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメント・シンガポール・リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

|        |                                                                             |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 委託する範囲 | 海外の株式等の運用                                                                   |
| 委託先名称  | NOMURA ASSET MANAGEMENT SINGAPORE LIMITED<br>(ノムラ・アセット・マネジメント・シンガポール・リミテッド) |
| 委託先所在地 | シンガポール共和国 シンガポール市                                                           |

- 「ノムラ・アジア・シリーズ」を構成するファンド間で、スイッチングができます。
- 原則、毎年9月12日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 《分配金に関する留意点》

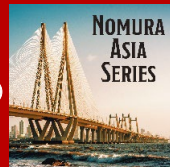
- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆ 設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商 号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



## 投資リスク

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープール・ファンド」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## 【お申込メモ】

## ●信託期間

|                  |              |
|------------------|--------------|
| 無期限              |              |
| ノムラ・印度・フォーカス     | 2009年9月16日設定 |
| ノムラ・インドネシア・フォーカス | 2010年12月6日設定 |
| 2029年9月12日まで     |              |
| マネープール・ファンド      | 2009年9月16日設定 |

## ●決算日および

## ●ご購入価額

## ●ご購入単位

年1回の決算時(原則9月12日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
ご購入申込日の翌営業日の基準価額  
1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
なお、「マネープール・ファンド」は、スイッチング以外によるご購入はできません。

※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。

## ●ご換金価額

【各ファンド】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額  
【マネープール・ファンド】

ご換金申込日の翌営業日の基準価額

## ●スイッチング

「ノムラ・アジア・シリーズ」を構成するファンド間で、スイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。

## ●お申込不可日

各ファンドは、販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

|                  |                                                  |
|------------------|--------------------------------------------------|
| ノムラ・印度・フォーカス     | ・インドのナショナル証券取引所の休場日                              |
|                  | ・インドネシア証券取引所の休場日                                 |
| ノムラ・インドネシア・フォーカス | ・インドネシアの連休等で、ご購入、ご換金のお申込みの受付を行わないものとして委託会社が指定する日 |

## ●課税関係

個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。「ノムラ・印度・フォーカス」「ノムラ・インドネシア・フォーカス」はNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。  
「マネープール・ファンド」はNISAの対象ではありません。  
なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 【当ファンドに係る費用】

## ◆ご購入時手数料

ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額  
<スイッチング時>  
販売会社が独自に定める率を乗じて得た額  
なお、各ファンドから「マネープール・ファンド」へのスイッチングの場合は無手数料  
\*詳しくは販売会社にご確認ください。

## ◆運用管理費用

## (信託報酬)

ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。

|                  |                                                          |
|------------------|----------------------------------------------------------|
| ノムラ・印度・フォーカス     | 年1.925%(税抜年1.75%)                                        |
| ノムラ・インドネシア・フォーカス | 年1.815%(税抜年1.65%)                                        |
| マネープール・ファンド      | 年0.605%(税抜年0.55%)以内<br>(2026年5月末現在<br>年0.605%(税抜年0.55%)) |

## ◆その他の費用・

## 手数料

組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用(「マネープール・ファンド」を除く)、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。  
※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

## ◆信託財産留保額

## (ご換金時、

## スイッチングを含む)

【各ファンド】  
1万口につき基準価額に0.5%の率を乗じて得た額  
【マネープール・ファンド】  
ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

## 野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;委託会社&gt;

野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

## &lt;受託会社&gt;

野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。 )ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

## ◆設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商 号: 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会: 一般社団法人資産運用業協会 /

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# ノムラ・アジア・シリーズ(ノムラ・印度・フォーカス)

## お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 |          | 登録番号            | 加入協会    |                   |                         |                            |
|--------------|----------|-----------------|---------|-------------------|-------------------------|----------------------------|
|              |          |                 | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>資産運用業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商品<br>取引業協会 |
| 野村證券株式会社     | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第142号 | ○       | ○                 | ○                       | ○                          |

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。